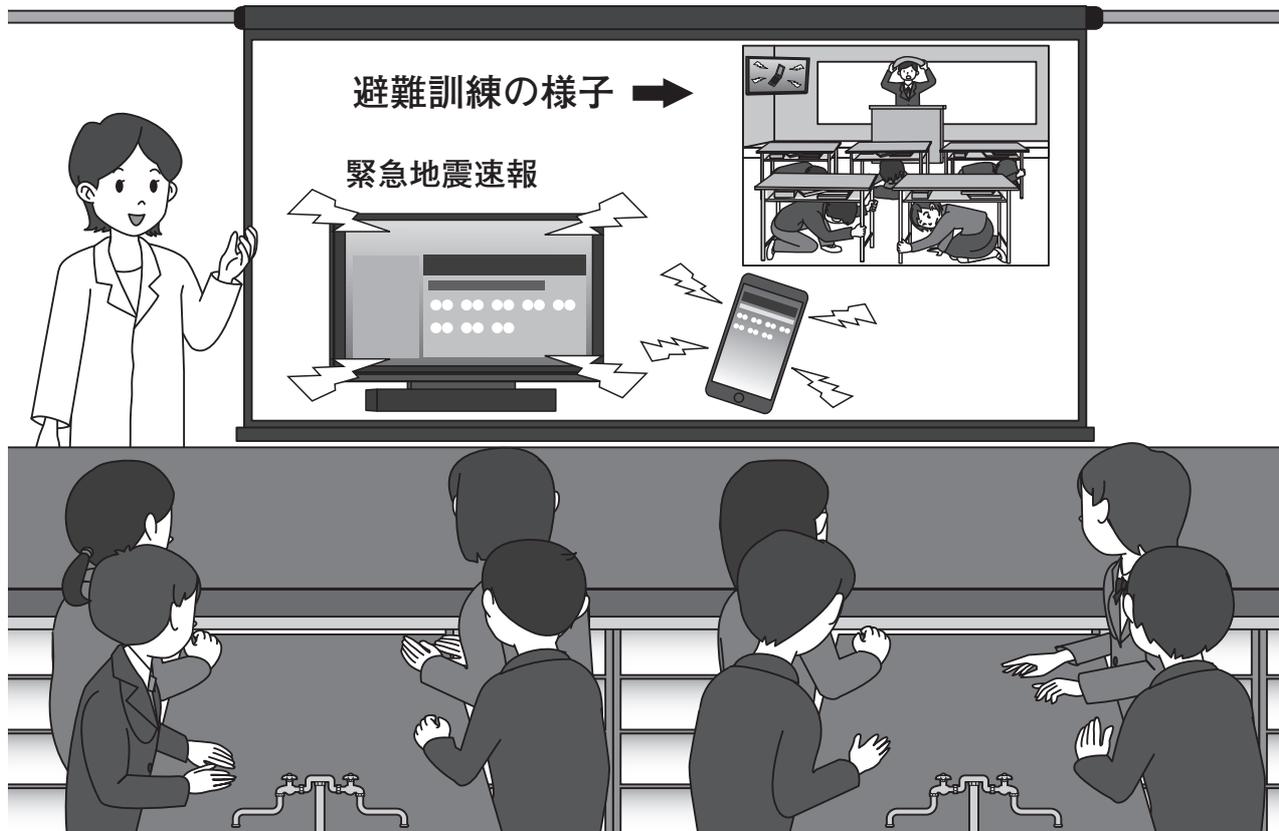


7 「緊急地震速報による避難訓練」の後，理科の授業で地震の学習を行い，科学的に探究しました。

(1)から(3)までの各問いに答えなさい。



理科の授業場面 1



緊急地震速報は，震源に近い地震計でP波をとらえ，S波による強い揺れが起こる可能性があることを一斉に知らせる仕組みです。

(1) 地震の揺れの強さを何といいますか。また，S波による揺れを何といいますか。それぞれ下のア，イから1つ選びなさい。

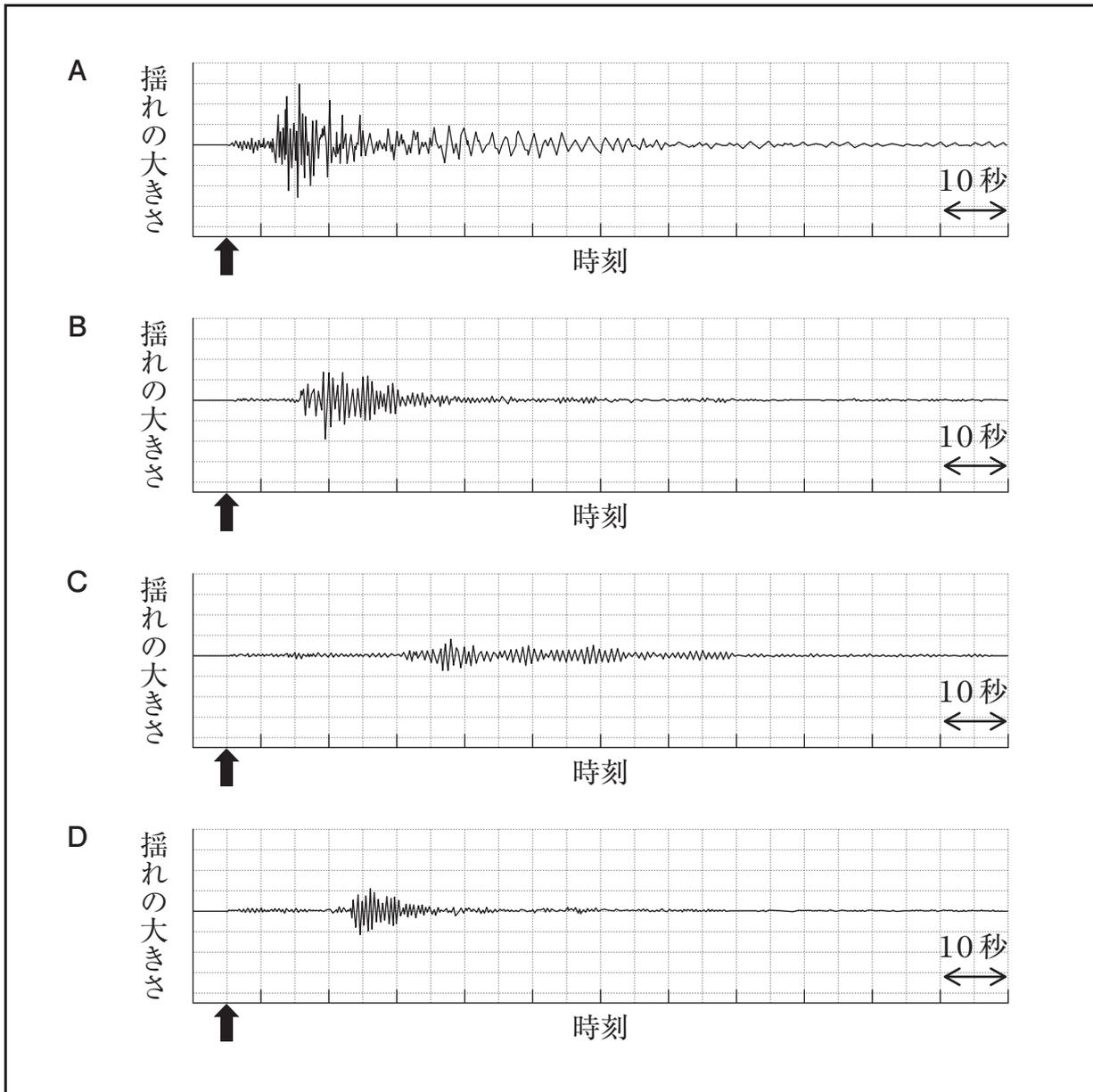
地震の揺れの強さ	ア マグニチュード	イ 震度
S波による揺れ	ア 初期微動	イ 主要動

理科の授業場面2



AからDは、緊急地震速報が出された地震の4つの地点の記録です。「↑」は、その地点における揺れ始めの時刻を示しています。縦軸は、それぞれの時刻における揺れの大きさです。

< A から D における地震の記録 >



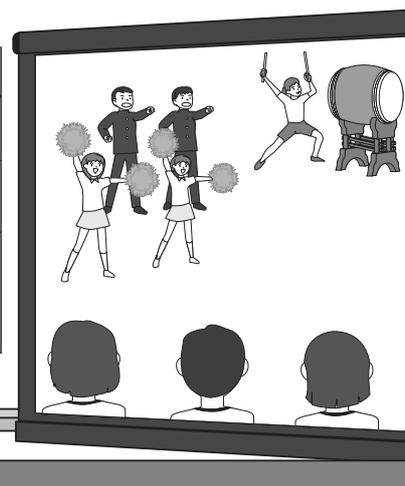
(2) 緊急地震速報を受け取ってから、S波による揺れが始まるまでの時間が、最も長いと考えられる観測地点を、上のAからDまでの中から1つ選びなさい。

理科の授業場面3

緊急地震速報は、P波とS波の伝わる速さの違いを利用しています。
ところで、体育大会で太鼓をたたき動きを離れたところから観察すると、
動きに対して音が遅れて聞こえるのを経験したことはありませんか。
地震と太鼓を関連付けて考えてみましょう。



地震	太鼓
P波が届く	太鼓をたたいた瞬間が見える
S波が届く	太鼓の <input type="text" value="X"/> が届く
初期微動 継続時間	太鼓をたたいた瞬間が見えてから、 太鼓の <input type="text" value="X"/> が届くまでの時間



(3) 上の表の に適する語句を1つ書きなさい。